



学校だより 9月号

～豊かで調和のとれた子の育成～

【た】くましく生きる人 【な】かよく生きる人

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>



みのたなくん

新しい分散登校での夏季休業明け

校長 酒井 浩明

本日9月1日（水）から、**夏季休業と2日間の臨時休業が明け**、学校に子どもたちの姿が戻ってきました。

保護者の皆様には、8月30日（月）からのロイロノート等による健康観察報告の実施にご協力いただきありがとうございます。

今日は、午前と午後の分散登校での授業再開、明日から13日までは、1日おきに登校する分散型での授業が始まります。

今日の朝会の児童指導や各学級の担任の話では、**新型コロナウイルス感染症予防の取り組みを再確認するとともに、分散登校や今後の学習の進め方、課題等の確認**も行いました。

市教育委員会では、感染症対策として、**学校内での感染状況により、一週間程度、学級閉鎖等休業の措置をとったり、必要に応じて、学年単位又は学校全体の臨時休業を実施したりすることもある**としています。

このため、以前にも増して家庭での丁寧な健康観察や健康管理を充実させるだけでなく、**体調不良（発熱、せき、倦怠感、息苦しさ、頭痛の症状等）の場合は、今までのようにたぶん風邪だろうと考えずに、登校を見合わせて様子を確認したり、受診したりしてくださることが大切**になります。

以前から、登校後、**児童の発熱を確認した場合、帰宅措置を講じていますが、一層の早急なお迎え**をお願いいたします。

また、学級閉鎖や学年閉鎖、学校全体の臨時休業などが実施された場合、健康観察報告に利用している**ロイロノートを活用した連絡や家庭学習を実施することが想定**されます。この場合、**各家庭に保護者が不在の昼間であっても、児童が利用できるWi-Fi環境が必要**になると思いますので、**ご協力をお願いいたします。**

さて、今年度の**夏季休業中の各家庭でのお子**

さんの過ごし方はどのようでしたでしょうか？

私は、8月2日に神奈川県にも「第3回の緊急事態宣言」が発令され、今後の感染拡大や夏休み明けの学校再開を気にしながらも、閉庁期間に休暇を取得して、家庭でオリンピックをテレビ観戦する時間が多くなっていました。

観戦していて**特に心を動かされたのは、金メダルを手にした水谷隼さん、伊藤美誠さんが競技した混合ダブルスの卓球の試合**でした。

特に、点差が開いてきて、見ていて「逆転が無理じゃないか」と**あきらめてしまいそうな場面であっても、二人ともそんな様子も見せずに競技**していて、**特に伊藤さんが粘り強く戦っている姿に感動**しました。

「メンタルが強い」という言葉もありますが、そんな一言では片付けられない**「今まで練習してきた自分に対する自信」**のようなものを感じたからです。

また、パラリンピックの**車椅子バスケットボールの試合では、思っていたのとは異なる、車椅子を操る競技スピードの速さに圧倒**されました。

このように、一部ではありますが、オリンピックやパラリンピックの日本選手の競技映像を見たことで、**自分自身の心の有り方を考えたり、先入観に気付かされたりする機会**がもてました。

まだまだ、感染予防やよりよい教育活動の実施に、教職員一同、**粘り強く工夫を考える日々が続きますが、保護者と地域の皆様のご協力とご支援**をお願いいたします。



<田奈っ子菜園の
マリーゴールド>